

## 同じ符号の 2 つの数の除法

同じ符号の除法は、下のように計算する。

- ・**符号**: 正の符号になる。
- ・**絶対値**: 2つの数の商になる。
- ・2つの正の数の除法

$$(+6.2) \div (+3.1) = + (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑  
2つの数の商になる  
↓  
正の符号になる

- ・2つの負の数の除法

$$(-6.2) \div (-3.1) = + (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑  
2つの数の商になる  
↓  
正の符号になる

## 異なる符号の 2 つの数の除法

異なる符号の除法は、下のように計算する。

- ・**符号**: 負の符号になる。
- ・**絶対値**: 2つの数の商になる。
- ・異なる符号の 2 つの数の除法

$$(+6.2) \div (-3.1) = - (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑  
2つの数の商になる  
↓  
負の符号になる

$$(-6.2) \div (+3.1) = - (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑  
2つの数の商になる  
↓  
負の符号になる

1

次の計算をしなさい。

①  $(+2.1) \div (-0.3)$

②  $(-1) \div (-0.5)$

## 同じ符号の 2 つの数の除法

同じ符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 正の符号になる。
- ・絶対値: 2 つの数の商になる。
- ・2 つの正の数の除法

$$(\textcolor{red}{+} 6.2) \div (\textcolor{red}{+} 3.1) = \textcolor{blue}{+} (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑  
2 つの数の商になる  
↓  
正の符号になる

- ・2 つの負の数の除法

$$(\textcolor{red}{-} 6.2) \div (\textcolor{red}{-} 3.1) = \textcolor{blue}{+} (6.2 \div 3.1) = +2$$

↑  
2 つの数の商になる  
↓  
正の符号になる

## 異なる符号の 2 つの数の除法

異なる符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 負の符号になる。
- ・絶対値: 2 つの数の商になる。
- ・異なる符号の 2 つの数の除法

$$(\textcolor{red}{+} 6.2) \div (\textcolor{blue}{-} 3.1) = \textcolor{blue}{-} (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑  
2 つの数の商になる  
↓  
負の符号になる

$$(\textcolor{blue}{-} 6.2) \div (\textcolor{red}{+} 3.1) = \textcolor{blue}{-} (6.2 \div 3.1) = -2$$

↑  
2 つの数の商になる  
↓  
負の符号になる

1

次の計算をしなさい。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad (+2.1) \div (-0.3) \\ &= - (2.1 \div 0.3) \\ &= -7 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad (-1) \div (-0.5) \\ &= + (1 \div 0.5) \\ &= +2 \end{aligned}$$